

# 産業建設常任委員会活動レポート

開催日時：令和4年12月6日(金)

開催場所：中標津経済センター

## 中標津町商工会様との懇談会

### 1. 中標津町商工会の概要について

商工会の現状等について次のとおり説明がありました。

#### (1) 組織

	全道平均 (人)	中標津町商工会 (人)
総会員数	188	729
経営指導員数	1	3
職員数	4	10

※総会員数が全道平均の4倍の数値であるが、経営指導員数・職員数共に4倍とはなっていない。(少ない職員で運営している)

#### (2) 財政

	全道平均 (千円)	中標津町商工会 (千円)
自主財源額	9,221	6,284
会費収入額	4,666	22,567
手数料・受託料	6,655	17,296

#### (3) 事業 (1人あたりの指導件数)

	全道平均 (件)	中標津町商工会 (件)
巡回指導	382	248
窓口指導	321	503

※窓口での相談件数が多いため、巡回まで手が回らない。

### 2. 新型コロナウイルスによる会員企業への影響について

新型コロナウイルス関連の対策などについて次のとおり説明がありました。

	件数		金額 (円)	
	令和3年度	令和4年度 (11/30現在)	令和3年度	令和4年度 (11/30現在)
給付金 支援金 補助金	758	283	302,178,897	124,579,602
融資	26	12	370,000,000	74,500,000

### 3. 令和5年度まちなか賑わい推進事業について

令和4年度に3年ぶりに開催された『まちなか賑わい推進事業』につきましては15回目を数え、地域のイベントとして定着し、コロナ禍のため規模を縮小した開催でしたが、新たな事業として行った移動動物園が大変好評であり、多くの町民の皆様に来場いただくとともに、来年も動物園を開催して欲しいという沢山の声をいただきました。

しかしながら、令和4年12月をもって借用していた土地を返却することとなり、来年度については同規模の事業を開催することが不可能となり、継続していくためには会場を変更しなければならない状況となりました。

今後も中心市街地への集客と広く町民が参加できるイベントとして定着させ、市街地活性化の起爆剤として実施するためには会場を「しるべつと広場」に変更し、好評だった移動動物園についても継続事業とすることを、実行委員会並びに理事会で決定いたしました。

例年107万円の町補助金を、令和5年度においては倍額の214万円の予算とし、これを商店街賑わい推進事業補助金としてお願いしていきたい。

#### 令和5年度まちなか賑わい推進事業『まちなか賑わい秋の陣2023』予算(案)

(単位：円)

収入の部			支出の部		
科	目	予 算 額	科	目	予 算 額
町	補 助 金	2,140,000	イ	ベ ン ト 事 業 費	1,175,000
商	工 会 事 業 費	460,000	広	告 宣 伝 費	336,000
協	賛 金	50,000	会	場 設 営 費	1,375,000
雑	収 入	54,530	総	務 費	54,000
前	期 繰 越 金	235,470			
合	計	2,940,000	合	計	2,940,000

### 4. 中標津経済センターについて

経済センタービルの老朽化による、大規模改修工事の必要性和町の支援に対する姿勢について、次のとおり説明を受けました。

平成10年に建設された経済センタービルは、ハローワークを併設することで、ハローワーク施設分は町の事業費、商工会経済センター分は町からの補助金を活用したものです。

建設から約20年が経過し老朽化が進んだことで、屋根の防水工事や壁の改修という大規模な工事が必要となってきました。

当初は維持管理について商工会が対応していくことで、大規模な改修に備えて積み立てを行ってきましたが、暖房、照明などその他の設備の修繕などもあり当初計画どおりの積立金額に及ばず、さらに昨今の建築資材等の高騰もあり、商工会単独で大規模改修を行うことは難しい状況となっています。

このため町からの補助金による支援をお願いしたいと協議しましたが、町の厳しい財政事情などから大規模修繕の補助は難しいとの回答がありました。

建設当初の約束や町の事情なども十分に理解していますが、その上で施設改修費の支援をお願いしたいと思っています。

**産業建設常任委員会としては、これらを踏まえ行政との話し合いを進めてまいります。**